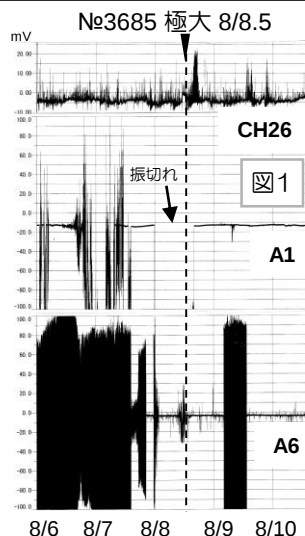


※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No.1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No.1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No.1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo.1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2 に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No.1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。

※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±0.3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

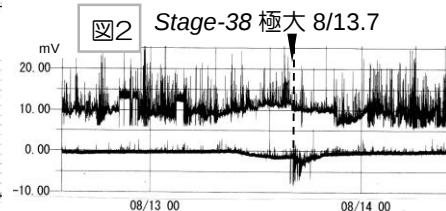
No.3685＝No.1778の別形態前兆変動の可能性

8/8 CH26変動＝No.1778ではなくNo.3685 極大認識 8/31 or 9/1 発生の可能性有



No.3685
初現 7/27.0～極大 8/8.5＝8/31.7±3

No.1778 Stage-38
初現 8/4.0～極大 8/13.7＝8/31.7±3



◆昨日8/13発表のNo.469続報で、No.1778の Stage-37 が示した 8/4 が Stage-38 の初現である可能性を報告致しました。その結果、Stage-38 の極大位置で2種の発生時期の可能性が考えられることを報告しました。

◆秋田観測点のA1,A6 に顕著な特異変動が観測され、高知観測点、ハケ岳でも関連変動が観測されました。推定領域はNo.1778と重複隣接する領域が推定され、No.3685と番号を付し E-mail・FAXで配信の観測情報では8/3から報告しておりました。No.3685変動の初現は7/27.0で極大は 8/8 認識でした。図1を参照頂きますと、秋田観測点A1,A6の顕著な特異変動とハケ岳のCH26変動に相関が認められ、CH26の 8/8 の変動はNo.3685の極大が検知されたものである可能性が高いと考えられます。

◆前述によって、8/8 のCH26変動はNo.1778のStage-38 の極大ではないという見解となり、昨日初めて観測されたCH21の変動の 8/13.7が極大（図2参照）である可能性が考えられます。No.3685もNo.1778も各変動からは、どちらも図2の上に記したとおり、8/31.7±3発生の可能性が示されます。従いまして、対応地震発生は 8/31 or 9/1 (8/31±3) の可能性が高い見解となります。

◆図3はNo.1778の推定領域図です。No.3685の推定域とNo.1778の推定域を重ねた重複する領域図が図4です。No.3685はNo.1778の別形態前兆変動である可能性が考えやすく、これが正しい場合は、No.1778の推定領域でも西側の図4の斜線域が推定領域となる可能性が高いことが考えられます。

◆8/15.2にCH26が静穏化しないことが確認できれば本見解正しい可能性。8/16以前に変動が終息した場合は続報予定ですが、継続の場合は本推定支持となりますので、8/27午後にCH26が静穏化するか確認し、続報予定です。

●推定領域：図3の点線領域内＝大枠推定領域
斜線領域＝火山近傍で可能性が考えやすい推定領域
図4の斜線領域内の可能性有

●推定規模：主震＋余震型の場合＝ M8.0±0.3
(M7.7～M8.0の可能性高い) または 複合地震活動

※複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが $\log L = 0.5M - 1.8$ (Utsu.)式で、合計で110～150km程度となる複合地震活動の可能性有（例：M7.1±0.3+M7.3±0.3等）

○地震発生に伴う震源に近い火山での噴火の可能性は低い見解。今後噴火型が観測された場合は続報

●推定時期：8月31日±3（8月31日 or 9月1日 考えやすい）

※CH26の変動が終息した時点で修正

○推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震

○推定発生時刻：午前 9時±2時間 or 午後 6時±3時間
(複合地震では当てはまらない場合有)

※18年継続する観測歴上最長の変動は観測例がない初めての体験で、解析が極めて難しいため推定に誤りがある可能性は否めません。お許しください。

※推定に近い地震が発生した場合でも被害の少ないことを祈ります。

C) Copyright 2026 YSBO ハケ岳南麓天文台

